

# 令和6年度第1回放送番組審議会

## ■開催日時

令和6年8月28日(水) 14:00~16:00

## ■開催場所

WEB会議

## ■出席委員(6名)

放送番組審議委員会会長 景山 陽一  
放送番組審議委員 服部 洋之  
時田 修  
三富 章恵  
加藤 光平  
小川 顕  
(順不同・敬称略)

## ■事務局出席者

代表取締役社長 末廣 健二  
取締役兼コーポレート本部長 佐々木 祐人  
テクニカルクリエイト本部長 安保 達成  
テクニカルクリエイト本部マネージャー 斉藤 洋樹  
テクニカルクリエイト本部サブマネージャー 三浦 明之  
TEAM CNA CREATION 尾形 祐三  
TEAM CNA CREATION 樋渡 大基  
コーポレート本部サブマネージャー 佐藤 義夫  
コーポレート本部 奈良 亜湖

## ■議事

- ・事務局からの報告事項
- ・自主放送番組についてのご意見

## ■視聴課題番組

番組名
① 生放送情報番組「し～なチャン」リニューアル
② おまつりニッポン#23「三吉梵天祭」

## ■放送番組審議委員からのご意見

### 【①生放送番組「し～なチャン」リニューアル】

- ・足元が固まってきていて以前より見やすい。
- ・側が整っているので企画のネタがより浮き彫りになりやすい。
- ・油屋コレクションの継続的な動きがあり、社会的観点からしても良い。
- ・話しているゲストが映る、会場背景に工夫が必要なのではないか。
- ・司会がスムーズでストレスなく見ることができる。
- ・視聴者のターゲットをどのような形で絞っているのか。
- ・秋田に眠っている地域資源や価値を県内外、ひいては世界の方へ届けられるものだった。
- ・ライブで視聴できない場合もアーカイブで見ることができるため素材が良かった。
- ・民謡や暮らしの知恵など、人々の暮らしに寄り添っている内容で見ごたえがあった。
- ・エンタメを消費する目的でテレビを見ていたが、この先は文化財として活用できるのではないか。
- ・アナウンサー1人のみの映像になるシーンが気になった。
- ・「しったげ」について、力が入りすぎていないところが良かった。
- ・曜日によってどんな年齢層に見られているのか教えてもらいたい。

### 【②おまつりニッポン#23「三吉梵天祭」】

- ・迫力のある映像で見応えがあった。
- ・本人の持ち味が生かせるようナレーションに工夫が必要なのではないか。
- ・祭りの映像は音が重要になるため、生音のバランスをもっと良くしたらよい。
- ・梵天の作り手の想いが知れた。
- ・祭りの最中の生の声が聞きやすく拾われていて印象に残った。
- ・祭りのルールや意味、映像と内容ともに力が入っていてよい。
- ・表面上では分かりにくい祭りの醍醐味が作戦会議のシーンに表れていると感じた。
- ・地域の人たちの熱い思いが伝わってきた。
- ・殴り合うシーンについて、放送前にどのような議論があったのかを知りたい。
- ・動き少ない祭りであるにも関わらず、映像に躍動感があつてよい。
- ・祭りの歴史にも深掘すると、より県外の人にもフォーカスしてもらえるのではないか。
- ・映像内に地図を挿入してもいいのではないか。
- ・三吉神社の狭いスペースでカメラをふんだんに使い様々な角度から映像を撮影していたことに驚かされた。